

Purus

自動おしぼり機 F-1721TBE 取扱説明書



	もくじ
安全上のご注意	1・2
各部の名称とはたらき	3・4
ご使用前の準備	5・6
設定のしかた	7・8
日常運転について	9・10
お手入れ	11・12
こんなときは	13
アフターサービス	14
仕 様	14

- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
不適切な取扱いは事故につながります。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明



警告

「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

●図記号の説明



は、してはいけない「禁止」の内容です。



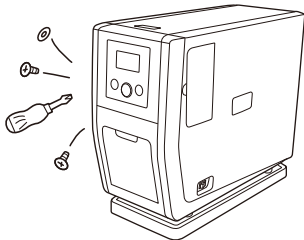
は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

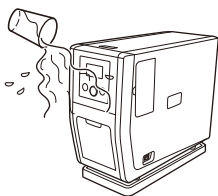


発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。修理は、お買い上げの販売店または、「プールズ株式会社 お客様相談センター」にご相談ください。



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。

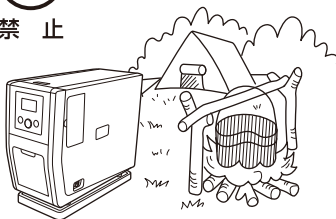


ショート・感電の恐れがあります。



禁止

屋外で使用しないでください。

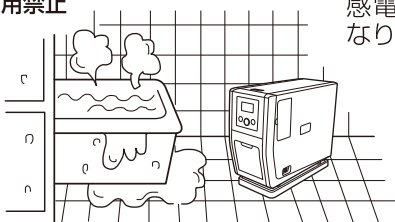


ショート・感電の恐れがあります。



水場での使用禁止

浴室など、湿気の多いところで使用しないでください。



感電・故障の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

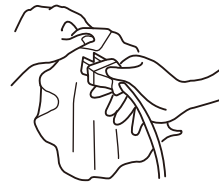


感電・ショート・発火の原因になります。



強制

電源プラグのほこりなどは定期的にとってください。



電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

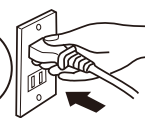


強制

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



根元まで



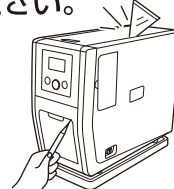
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



禁止

器具のすき間に異物を入れないでください。



感電・故障・けがの原因になります。



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。



感電やけがをすることがあります。

警告



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。



禁止

取出口内部に手や物を入れないでください。
けがや故障の原因になります。

注意



強制

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けてください。

丈夫で平らなところに



水漏れ・転倒・落下などによるけがの原因になる場合があります。



強制

設置する台が濡れても良いところに据え付けてください。

濡れてもよいところに

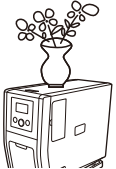


給水時などに周囲の床を濡らす恐れがあります。



禁止

製品の上に重量物や水を入れた容器を置かないでください。

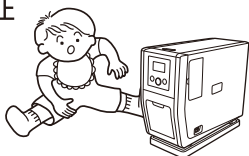


落下してけがをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電火災の恐れがあります。



禁止

子供が触ったりしないよう注意してください。



製品の転倒や内部コンベア部への指の巻き込みなどによるけがや、本体故障の原因になる場合があります。



禁止

交流100V以外では使用しないでください。



感電・火災の原因になります。



強制

長期間で使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

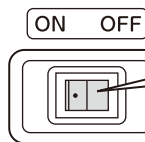


絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



強制

3日以上で使用にならないときは、電源スイッチを「OFF」にし、本体・給水タンクの水を抜いてください。



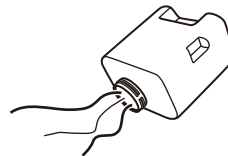
OFFにして

水の腐敗から雑菌が繁殖し、悪臭や健康被害の原因になることがあります。



強制

周囲温度が0℃以下の凍結の恐れがあるときは、必ず本体・給水タンクの水を抜いてください。

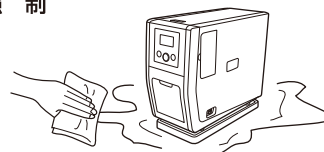


凍結による破損の原因になることがあります。



強制

万一、床に水が漏れた場合は、すぐにふき取ってください。

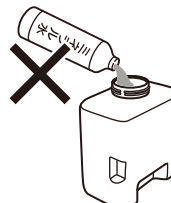


滑ってけがをする恐れがあります。



禁止

給水タンクに水道水およびプールの製専用除菌液以外のものを入れないでください。



ミネラル水やプールの製専用除菌液以外のものを入れると故障の原因になります。



強制

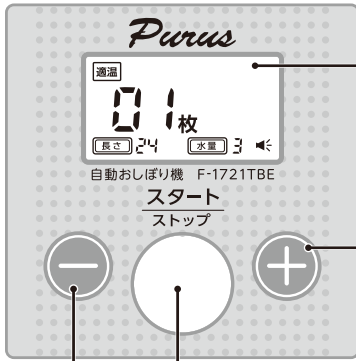
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。



感電・ショート・発火の原因になります。

各部の名称とはたらき

フロントパネル部



液晶表示

- おしぼりの枚数・長さ・水量などの設定内容を表示します。
- エラー時に、エラー内容・処置方法を表示します。

+ボタン

- おしぼりの枚数設定を増やします。
- 長さ調整時、おしぼりの長さ設定を増やします。
- 水量調整時、おしぼりの水量設定を増やします。
- エラー時、表示を次の画面に送ります。

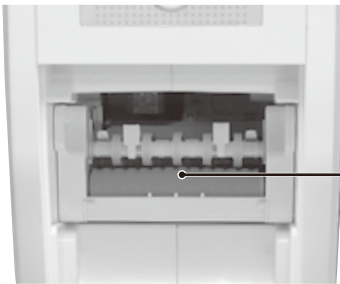
-ボタン

- おしぼりの枚数設定を減らします。
- 長さ調整時、おしぼりの長さ設定を減らします。
- 水量調整時、おしぼりの水量設定を減らします。
- エラー時、表示を前の画面に戻します。

スタート・ストップボタン

- おしぼりの製造を開始します。
- 連続製造中に押すと、おしぼりの製造を中止します。
- エラー時、処理を行った後、エラーを解除します。

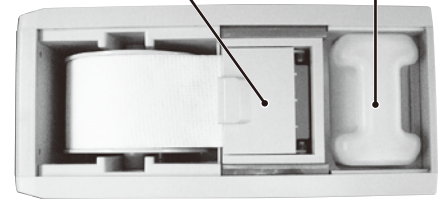
前面カバー内部



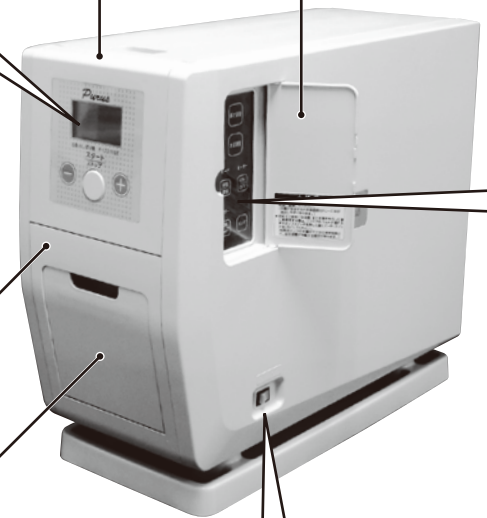
コンベアユニット

紙送りカバー

給水タンク



コントロールスイッチカバー 上カバー

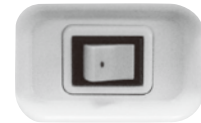


前面カバー

取出口

電源スイッチ

ON OFF



メンテナンスカバー

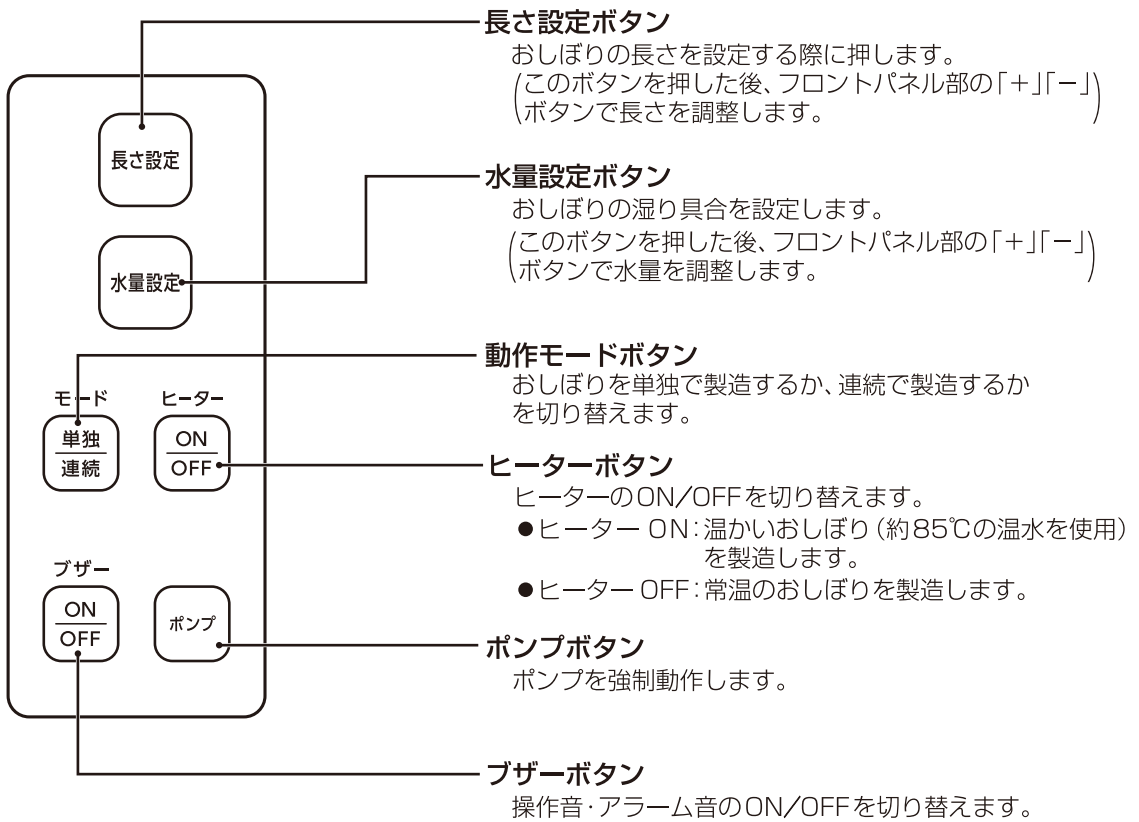
排水バルブ

電源プラグ

電源コード



コントロールスイッチ部



付属品



ロール紙ホルダー…2



給水タンク…1



トレイ…1

別売品

- プールス製 専用除菌液
- プールス製 専用ロール紙

ご使用前の準備

1. 設置します。



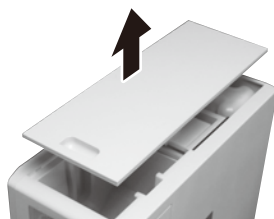
△注意

- 設置する台や床面が丈夫で平らなところに水平になるように据え付けてください。
- 必ず本体の下にトレーをセットしてご使用ください。おしぼり製造時の余剰水が本体底部から流出します。

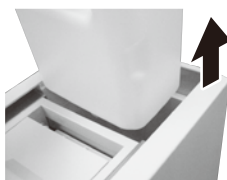
本体のゴム足(4ヶ所)がトレーの凹部にはまり込むようにセットします。



2. 上カバーを取りはずします。



3. 給水タンクを取り出します。



4. 給水タンクに水と専用除菌液を入れます。

(専用除菌液は製品に付属しておりませんので、別途お買い求めください。)

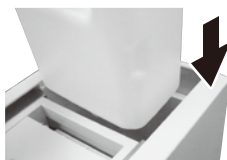


- ①清潔な水道水を、給水タンクからあふれない程度に入れます。
- ②専用除菌液を適量(除菌液に記載の指示に従ってください。)入れます。

△注意

- 給水タンクのキャップは確実に閉めてください。給水タンクの水が溢れたりして、感電・故障の原因になります。
- 給水タンクには、水道水・プールの専用除菌液以外のものを入れないでください。ミネラル水や専用除菌液以外のものを入れると、故障の原因になります。
- 必ず専用除菌液を入れてご使用ください。除菌液を入れないと、除菌効果が得られません。
- 必ずプールの専用除菌液をご使用ください。他の除菌液を使用すると、故障の原因になります。

5. 給水タンクを本体に元通り取付けます。

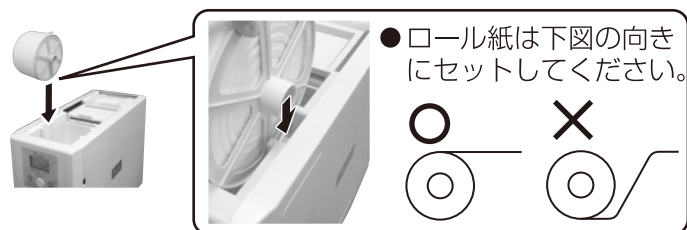
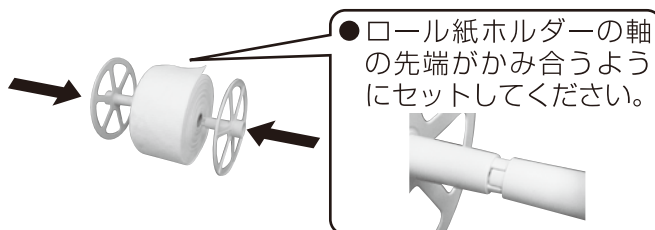


6. ロール紙をロール紙ホルダーに挟み込み、本体にセットします。

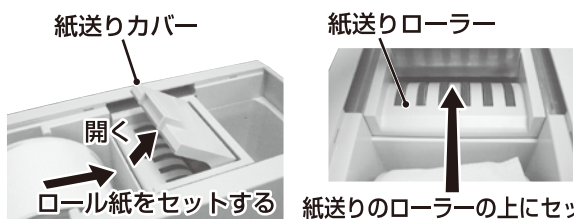
(ロール紙は製品に付属しておりませんので、別途お買い求めください。)

△注意

必ずプールの専用ロール紙をご使用ください。他のロール紙を使用すると、紙詰まりや故障の原因になります。



7. 紙送りカバーを開き、ロール紙の先端をセットします。

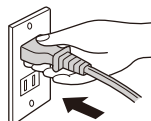


- ①ロール紙先端を紙送りローラーの上にセットします。紙送りローラーの上に十分にロール紙が乗っていないと、ロール紙は送り込まれません。
- ②紙送りカバーを閉じます。電源スイッチを「ON」にすると、ロール紙が自動的に送り込まれます。

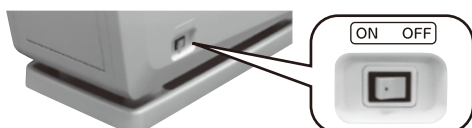
8. 上カバーを元通り閉じます。



9. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



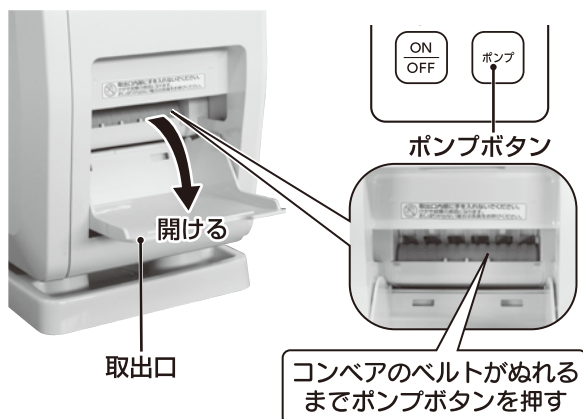
10. 電源スイッチを「ON」にします。



▲注意

以下の手順で水を本体内部に循環させるまで、ヒーターを「ON」にしないでください。ヒーターが「ON」になっていると、本体内部の加熱用タンクの水量が不十分なまま加熱され、安全装置が作動する場合があります。

11. 取出口を開けて、コントロールスイッチ部のポンプボタンを押し続けます。



水が本体内部に循環すると、コンベアのベルトが濡れてきますので、それまで押し続けてください。

(給水タンクをセットした直後など、場合によっては1分程度かかることがあります。)

- 万一、1分程度ポンプボタンを押し続けてもコンベアのベルトが濡れない場合は、給水タンク収納部の給水フィルターを取りはずしてポンプボタンを押し続けてください。(水を循環させた後は、必ず給水フィルターを元通りに取付けてご使用ください。)

12. おしぼりを作ってみます。



フロントパネルの「スタート/ストップ」ボタンを押して、おしぼりを作ってみます。2～3枚作ってみて、長さや水分量を確認してください。

- 最初の1枚は、水分量が少ないものが出ることがあります。

13. 次項の「設定のしかた」に従い、おしぼりの長さや水分量などをお好みの状態に設定します。

設定のしかた

本体右側面のコントロールスイッチカバーを開け、内部のコントロールスイッチを次の手順で設定してください。



コントロールスイッチカバー

おしぼり長さの設定

おしぼりの長さは18/24/30/36/42cmの5段階に設定できます。

1. 長さ設定 ボタンを押します。



以下の手順で、おしぼりをお好みの長さに設定します。
(液晶表示部の長さ設定表示が点滅します。)



2. フロントパネル部の「+」「-」ボタンを押し、長さを設定します。



3. フロントパネル部のスタート/ストップボタンを押すと、設定を完了します。

(液晶表示部の長さ設定表示の点滅が停止します。)



おしぼり水分量の設定

おしぼりの湿り具合は、0/1/2/3/4/5/6の7段階に設定できます。

△注意

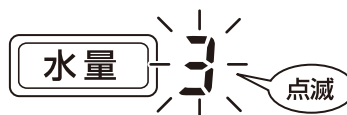
水量は、おしぼりが濡れすぎない程度に調整してください。
水量が多すぎると、本体底部のトレーに水が流出しやすくなります。

1. コントロールスイッチの 水量設定 を押します。



以下の手順で、おしぼりが適切な湿り具合となるように水量を調整します。

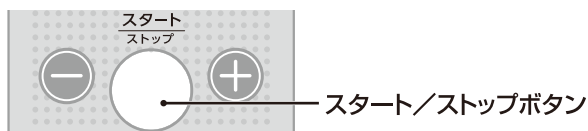
(液晶表示部の水量設定表示が点滅します。)



2. フロントパネル部の「+」「-」ボタンを押し、水量を設定します。



3. フロントパネル部のスタート/ストップボタンを押すと、設定を完了します。



(液晶表示部の水量設定表示の点滅が停止します。)

! 水量設定を「0」とし、水を使用せずにおしぼりを製造することもできます。

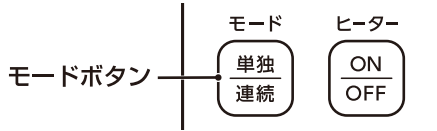
単独／連続の設定

おしぼりを1枚ずつ取り出すか、連続で取り出すかを設定できます。

【単独】：スタート／ストップボタンを押すごとに、1枚ずつおしぼりが製造されます。

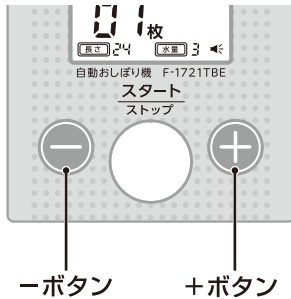
【連続】：おしぼりの連続枚数を設定し、最大50枚までの連続製造を行うことができます。

1. モードボタンを押し、単独／連続を切り替えます。



- 連続モード時は、液晶表示部に「連続」マークが表示されます。
- 単独モード時は、この表示はありません。

2. 連続に設定した時は、フロントパネルの「+」「-」ボタンで枚数を設定します。



(モードを「単独」にした場合は「+」「-」ボタンは機能しません。)

【+】ボタン：1回押すごとに、おしぼりの枚数設定が1ずつ増加します。
長押しすると、おしぼりの枚数設定が連続的に増加します。

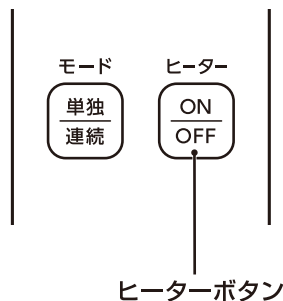
【-】ボタン：1回押すごとに、おしぼりの枚数設定が1ずつ減少します。
長押しすると、おしぼりの枚数設定が連続的に減少します。
デジタル表示が「01」の状態で長押しすると、枚数設定が最大値(「50」)に切り替わります。

- 【+】ボタンと【-】ボタンを同時に押すと、枚数設定がリセットされ、デジタル表示が「01」に戻ります。

ヒーターのON/OFF

温かいおしぼり、または、常温のおしぼりを作るかを設定できます。

(ヒーター使用時は、約85℃の温水を使用したおしぼりが製造されます。)



ヒーターボタンを押し、ヒーターのON/OFFを切り替えます。

- 温かいおしぼりを作る場合は、ヒーターを「ON」にします。
(水量設定表示が「0」のときは、水を使用せずにおしぼりを製造するため、ヒーターは機能しません。)

ヒーター ON時、液晶表示部には、以下のマークが表示されます。

－加熱中は、(加熱中)のマークが表示されます。

10分程度で加熱が完了し、適温になります。

－適温時(約85℃時)は、(適温)のマークが表示されます。

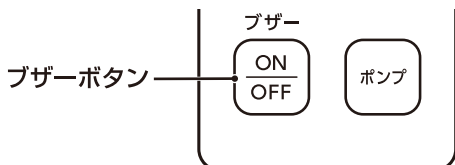
- 常温のおしぼりを作る場合は、ヒーターを「OFF」にします。
ヒーター OFF時、液晶表示部には、上記表示はありません。

⚠注意

- 初めてご使用になる際や、水抜きを行った後に再使用する際は、「ご使用前の準備」(5～6ページ)に従い、コンベアのベルトが濡れるまでポンプボタンを押した後にヒーターをONにしてください。
本体内部の水の循環が不十分な可能性があり、加熱用タンクの水量が不足したまま加熱されて、安全装置が作動する場合があります。
- 本体に給水していない場合は、ヒーターをONにしないでください。安全装置が作動する場合があります。

ブザー音のON/OFF

ブザー音(各ボタンの操作音、エラー時のアラーム音)のON/OFFが設定できます。



ブザーボタンを押し、ブザー音のON/OFFを切り替えます。

- ブザー音ON時は、液晶表示部に「ブザー」マークが表示されます。
- ブザー音OFF時は、この表示がありません。

日常運転について

定格時間について

本機の定格時間は15分です。
15分の連続運転後は、10分以上の停止時間が必要です。

ヒーターについて

初めてご使用になる際や、水抜きを行った後に再使用する際は、「ご使用前の準備」(5～6 ページ)に従い、コンベアのベルトが濡れるまでポンプボタンを押した後に、ヒーターを「ON」にしてください。
本体内部の水の循環が不十分な可能性があり、加熱用タンクの水量が不足したまま加熱されて、安全装置が作動する場合があります。

自動循環について

本機は1時間に1回(約3秒)、本体内部の水の自動循環を行います。
このときポンプの動作音がしますが異常ではありません。

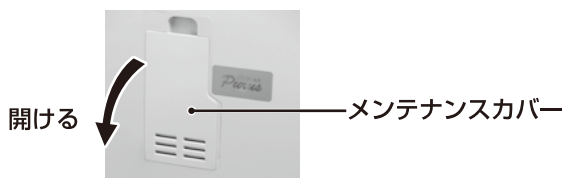
おしぼりが出てこないときの処置方法

エラー発生時(E7/E8/E9)の処置方法

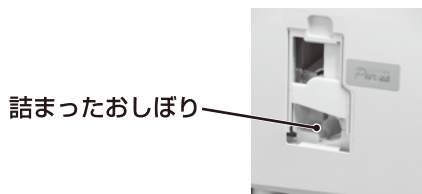
(この他のエラー発生時は、「こんなときは」(13ページ)をご覧ください。)

カッター部におしぼりが詰まっている可能性がありますので、以下の手順でおしぼりの詰まり確認・除去を行ってください。

1. 本体左側面のメンテナンスカバーを開きます。



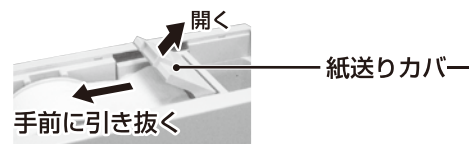
2. メンテナンスカバー内部におしぼりが詰まっていないか確認し、詰まっている場合はおしぼりを取り出してください。



3. 上カバーを取りはずします。

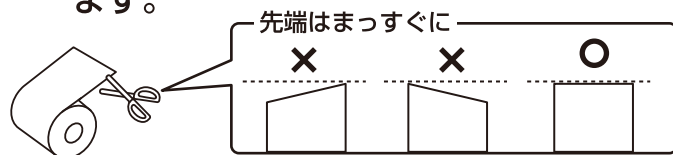


4. 紙送りカバーを開いて、ロール紙を手前に引き抜きます。



5. 同梱カラー版の「エラー時の処置方法」を参照し、クリーニングシートを使用して、ロール紙の切れ端を取り除きます。

6. ロール紙の先端をハサミで切りそろえます。



7. メンテナンスカバーを閉じます。

8. 再度ロール紙を紙送りカバー内にセットし、上カバーを閉じます。

エラー発生時の処置方法

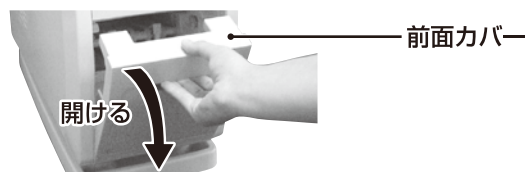
エラー発生時は、液晶表示部にエラー番号とエラー内容が表示されます。

- +ボタンを押すと、処置方法が表示されますので、表示に従って処置を行ってください。
- エラー内容によっては、処置方法が複数画面に分かれていますので、順次+ボタンを押して次の画面に送り、処置方法をご確認ください。
- 処置方法の画面を最後まで送ると、「スタート/ストップボタンを押してください」と表示されます。スタート/ストップボタンを押すと、エラー表示が解除され、通常画面に戻ります。
- エラーの表示中、エラー箇所の処置が完了すると、自動的にエラー表示が解除され、通常画面に戻ります。
- エラーの内容と処置方法は「こんなときは」(13ページ)をご参照ください。

エラー表示がついていないとき

コンベアユニット部におしぼりが詰まっている可能性がありますので、以下の手順でおしぼりの詰まり確認・除去を行ってください。

1. 前面カバーを手前に開きます。



2. コンベアユニットのベルト部を持って、コンベアユニットを手前に引き出します。



3. 内部におしぼりが詰まっていないか確認し、詰まっている場合はおしぼりを取り出してください。コンベアユニットのベルトの間におしぼりが詰まっているときは、ベルトを指で回して、詰まったおしぼりを取り出してください。

4. コンベアユニット部におしぼりが詰まっていないときは、カッター部に詰まっている場合があります。前項「エラー発生時 (E7 / E8 / E9) の処置方法」(9ページ)に従って処置を行ってください。

5. コンベアユニットをセットし、前面カバーを閉じます。

ロール紙切れのときのロールの処理

ロール紙がなくなった場合は、E1 または E8 が表示されます。以下の手順でロール紙の交換を行ってください。

1. 上カバーを取りはずします。

2. 紙送りカバーを開き、ロール紙の残りを取り除いてください。

3. 新しいロール紙を紙送りカバー内にセットし、上カバーを閉じます。(5~6ページをご覧ください。)

水抜きについて

次のような場合は、運転を終えた後、以下の手順に従って給水タンクと本体内部の水を抜いてください。

- 運転終了後、次の運転時まで3日以上開く場合。(本体内部の水の腐食や悪臭や健康被害の原因になります。)
- 寒冷地でご使用の場合。(給水タンクや本体内部の水が凍る可能性があります。)

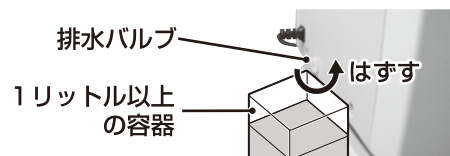
1. 電源スイッチを「OFF」にして、コンセントから電源プラグを抜き、1時間以上待ちます。



本体内部には、高温(約85℃)のお湯が入っています。
必ず1時間以上待ち、内部のお湯を冷ましてから以下の作業を行ってください。

2. 上カバーを開け、給水タンクを取りはずして、給水タンク内の水を排出します。

3. 本体背面の排水バルブキャップをはずします。



排水バルブからお湯が排出されますので、1リットル以上の容器に排出します。

4. 排水が停止したら、本体の正面側を上にして機体を後方に傾け、残留している水を排出します。

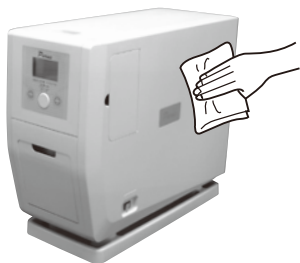


5. 再びご使用になる時は、「ご使用前の準備」(5~6ページ)の手順に従って、再セットしてください。

お手入れ

- お手入れは、必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて1時間以上経過してから行ってください。(シャワーユニットなど、各部が高温になっている恐れがあります。)
- 本体の丸洗いは危険です。絶対にしないでください。
- おしぼり製造時の余剰水がトレーにたまっている場合があります。定期的にトレーの状態を確認し、ふきとり・清掃を行ってください。

本体のお手入れ



- 乾いたやわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸し、よくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとるときれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。

本体内部および給水タンクのお手入れ

カビや異臭の発生を防止するため、定期的に本体内部の水を捨て、給水タンクの水を交換してください。長期間ご使用にならない場合は、水を捨ててしっかりと乾燥させてください。数日間使用せずに放置すると、本体内部の水の腐食・悪臭の原因になります。

本体内部の水の排水

「水抜きについて」(10ページ)の手順に従い、本体内部の水を排出してください。

給水タンクのお手入れ

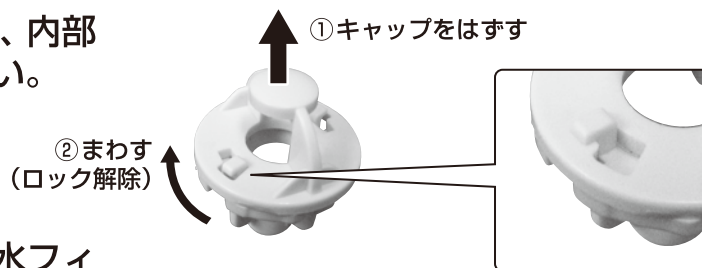
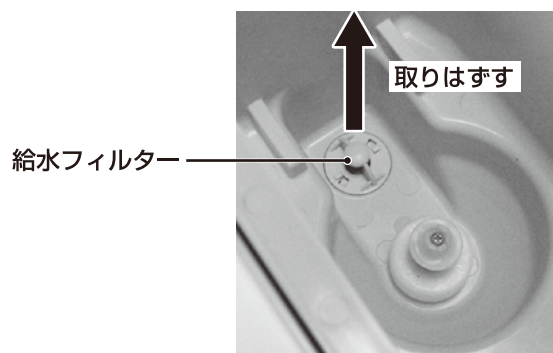
タンク内のすすぎ洗いをします。

1. 給水タンク内の水を捨て、空にします。
2. 給水タンクに新しい水を1/3程度入れ、キャップを閉めてよく振り、排水します。



給水フィルターのお手入れ

1. 給水タンクを取りはずします。
2. 給水タンク収納部の底面にある給水フィルターを取りはずします。
3. 給水フィルターのキャップを取りはずし、内部のメッシュをブラシ等で掃除してください。
4. 給水フィルターのキャップを取付け、給水フィルターを取付けます。



△注意

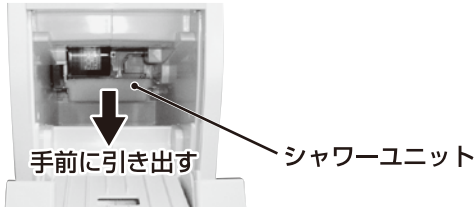
給水フィルターをはずしたままで使用しないでください。故障の原因になります。

シャワーユニットのお手入れ

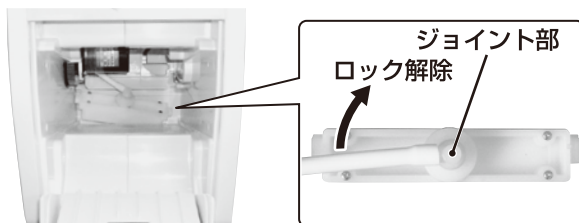
1. 前面カバーを開けて、コンベアユニットを取り出します。

コンベアユニットの取りはずしかたは、「おしぼりが出てこないときの処置方法—エラー表示がついていないとき」(10ページ)の1~3をご覧ください。

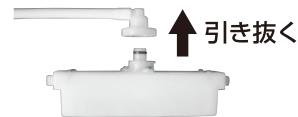
2. シャワーユニットを手前に引きます。



3. シャワーユニットに接続されているチューブを取りはずします。



- ①チューブのジョイント部を矢印の方向に回す。(ロックが解除されます)
- ②チューブのジョイント部からシャワーユニットを引き抜きます。

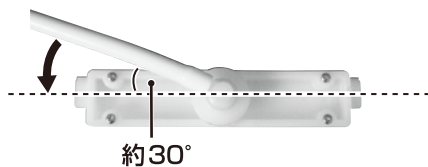


4. シャワーユニット上部のネジ4本を取りはずしてユニットを分解し、シャワー板の小穴のゴミをブラシ等で掃除してください。

ネジをはずす ネジをはずす



5. 掃除後は、シャワーユニットを元通り組付け、本体にセットしてください。



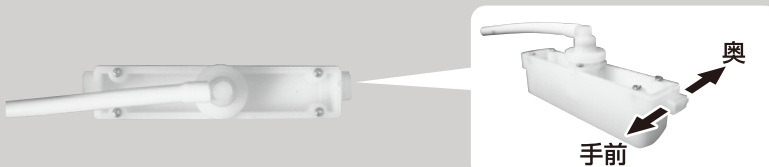
- ①図の角度にチューブのジョイント部を差し込む。
- ②チューブのジョイント部を矢印の方向に回す。(ジョイントがロックされます。)



シャワーユニットの突起を、本体のミゾに差し込む

⚠注意

- シャワーユニットは、取付ける向きがあります。



こんなときは

こんなときは？	調 べ る と こ ろ	処 置
エラー表示が発生した	エラー番号を確認し、その番号に応じて以下の処理を行ってください。	
	E0: ロール紙・除菌液(水)ともがない。	ロール紙・除菌液(水)を補給してください。
	E1 または E8: ロール紙がない。	ロール紙を補給してください。
	E2: 除菌液(水)がない。	除菌液(水)を補給してください。
	E3: カバー類が開いている。	各カバー・パネル類(前面カバー/紙送りカバー/メンテナンスカバー)を確実に閉じてください。
	E4: ヒーター異常。	サービスマンにご連絡ください。
	E5: マイコン制御異常。	サービスマンにご連絡ください。
	E6: 湯温検知センサー異常。	サービスマンにご連絡ください。
	E7: カッター動作異常。	「おしぼりが出てこないときの処置方法」(9～10ページ)に従って、各部に紙が詰まっていないか確認してください。
	E8: ロール紙送り異常。	
	E9: カットしたおしぼりが詰まっている。	
作動しない	電源プラグにコンセントがしっかり差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み直してください。
	電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	電源スイッチを「ON」にしてください。
おしぼりが出てこない	内部におしぼりが詰まっていますか？	「おしぼりが出てこないときの処置方法」(9～10ページ)に従って、各部に紙が詰まっていないか確認してください。
おしぼりが巻かれない	おしぼりは充分湿っていますか？	水量設定ボタンを押した後、＋ボタンで水量を設定してください。 ●水量設定が「0」のときは、おしぼりの巻きが弱くなります。
	ロール紙の動きは正常ですか？	ロール紙を巻き戻し、シワになっている部分は切り取って再度セットしてください。
おしぼりが湿らない	水量設定が低すぎませんか？	水量設定ボタンを押した後、＋ボタンで水量を再調整してください。
	給水フィルターが目詰まりしていませんか？	給水フィルターの清掃を行ってください。
	シャワーユニットが目詰まりしていませんか？	シャワーユニットの清掃を行ってください。
おしぼりの水分の量が多すぎる	水量設定が高すぎませんか？	水量設定ボタンを押した後、＋ボタンで水量を再調整してください。
おしぼりが温かにならない	ヒーターが「OFF」になっていませんか？	ヒーターボタンを押してヒーターを「ON」にし、10分程度お待ちください。
ヒーターがONにならない	水量設定が「0」になっていませんか？	水量を「1」～「6」の範囲で設定してください。 ●水量設定が「0」のときは水を使用せずにおしぼりを製造するため、ヒーターは機能しません。
コンベアの動作が停止した	定格時間を超過して運転していませんか？	10分以上、休止してから再運転させてください。 ●定格時間(15分)を超過して運転すると、コンベアモーターの安全装置が作動してコンベアの動作が停止することがあります。

★長年ご使用の自動おしぼり機の点検を！

愛情点検



ご使用の際このようなことはありませんか。

- 排水口以外から水もれする。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- 運転中に、異常な音や振動がする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中 止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店か「プールス株式会社 お客様ご相談センター」にご相談ください。

アフターサービス

1.保証書

- この取扱説明書と同じ袋の中に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。

3.修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「プールス株式会社 お客様ご相談センター」に修理をご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。製品に保証書を添えてお買い上げの販売店か「プールス株式会社 お客様ご相談センター」までお申し出ください。

●保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店か「プールス株式会社 お客様ご相談センター」にご相談ください。

4.アフターサービスについてご不明の場合

「プールス株式会社 お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や色を変更することがあります。

プールス株式会社 お客様ご相談センター
☎(フリーダイヤル) 0120-395-722
お電話承り時間:9:00~17:30

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
(土・日・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。)

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕様

電 源	AC100V 50 / 60Hz
消 費 電 力	470W (待機時7W)
定 格 時 間	15分 (連続運転15分後10分停止)
給 水 タ ン ク 容 量 (約)	2.2L
電 源 コードの長さ(約)	1.8m
使 用 温 度 範 囲	5℃~35℃
製 品 寸 法 (約)	幅:230×奥行:540×高さ:450mm
製 品 質 量 (約)	14kg
付 属 品	ロール紙ホルダー…2、給水タンク…1、トレイ…1、

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

製品番号/製品名/履歴NO. F-1721TBE	サイズ/ページ数 規格A4 16P(210×297)	材質 白上質紙 A判 44.5kg	印刷色 Black 1color	加工 <input type="checkbox"/> 折り <input checked="" type="checkbox"/> 中綴じ	出力形態 <input checked="" type="checkbox"/> 海外 / <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> FILM / <input checked="" type="checkbox"/> CTP
自動おしぼり機 RX1303A	<input type="checkbox"/> 個人情報保護法 / 東京都条例 <input type="checkbox"/> 住所表記: 燕市吉田西木田2084-2 <input type="checkbox"/> 07表紙フォーマット <input type="checkbox"/> 愛知県校(おしぼり機) <input type="checkbox"/> TBPS-B0100準拠		備考 プールス様用		

(校了 2013年3月19日)

(企)承認	(品)	(サ)	(開)確認	制作確認		
				(ICD)長	(商企)	制作者

- 商品データベースとの整合性 [担当:(商企)]]
- デザイン仕様書との整合性 [担当:(デ)]]
- 動作仕様書との整合性 [担当:(電設)]]

営業

お客様ご確認印欄

新時代の高品位オシボリメーカー

Purus プールス株式会社

本社 & 事業本部: 〒440-0083 愛知県豊橋市下地町字天神34-2

TEL: 0532-56-1351(代) FAX: 0532-56-1353

e-mail: mail@purus.jp

URL: http://www.purus.jp/

RX1303A